



平成26年7月28日

## 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の選定結果

本年度から開始する「課題解決型高度医療人材養成プログラム」について、別紙のとおり選定事業を26件決定しました。

### 1. 事業の背景・目的

本事業（平成26年度予算額：10億円）では、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材を養成するため、大学自らが体系立てられた特色ある教育プログラム・コースを構築し、全国に普及させ得るべく、これからの時代に応じた医療人材の養成に取り組む事業を選定し支援します。

### 2. 事業概要

- 選定件数：【取組1】医師・歯科医師を対象とした人材養成：14件  
【取組2】看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成：12件
- 補助金交付額：【取組1】1件につき5,000万円程度／年  
【取組2】1件につき2,500万円程度／年
- 補助期間：平成26年度から最大5年以内（予定）

### 3. 選定結果（詳細は別紙のとおり）

- 【取組1】医師・歯科医師を対象とした人材養成 14件（申請件数 99件）
- 【取組2】看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成  
12件（申請件数 136件）

### 4. 選定方法

専門家・有識者により構成された「課題解決型高度医療人材養成推進委員会」で審査を行い決定しました。

【参考】本事業に関する情報を文部科学省ホームページに掲載しています。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/iryuu/1346835.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1346835.htm)

(※8月中旬頃に「選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント」及び選定大学の申請書を文部科学省ホームページに掲載予定。)

<担当>

文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室

室長補佐：尾田史郎

病院第二係長：西尾和幸

電話：03-5253-4111 内線 3432

03-6734-2578 (直通)

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果一覧

### 【取組1：医師・歯科医師を対象とした人材養成】

#### 〔1－(1)：横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成〕

①医療の質管理領域(医療安全・感染制御) 申請件数：26件・選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	東京医科歯科大学		PDCA医療クオリティマネージャー養成
2	国	名古屋大学		明日の医療の質向上をリードする医師養成

②災害医療領域 申請件数：19件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	新潟大学		発災～復興まで支援する災害医療人材の養成
2	私	近畿大学	京都大学、大阪市立大学、関西医科大学、旭川医科大学	災害医療のメディカルディレクター養成

③臨床医学教育・研究領域 申請件数：15件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	京都大学		京大で臨床研究力／医学教育力を強化する！
2	国	琉球大学		臨床研究マネジメント人材育成

#### 〔1－(2)：特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成〕

①難治性疾患診断・治療領域(臨床病理を含む) 申請件数：12件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	金沢大学	富山大学、福井大学、金沢医科大学	北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン
2	国	信州大学	札幌医科大学、千葉大学、東京女子医科大学、京都大学、鳥取大学	難病克服！次世代スーパードクターの育成

②高難度手術領域 申請件数：12件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	熊本大学	長崎大学、岡山大学、金沢大学、新潟大学、千葉大学、京都大学	国内初の、肝臓移植を担う高度医療人養成
2	私	慶應義塾大学	東京医科大学、岩手医科大学	領域横断的内視鏡手術エキスパート育成事業

③小児周産期領域 申請件数：12件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	筑波大学	東京医科歯科大学	ITを活用した小児周産期の高度医療人養成
2	国	鳥取大学	秋田大学、山形大学、大阪市立大学	重症児の在宅支援を担う医師等養成

#### 〔1－(3)：健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成〕

申請件数：3件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	東京医科歯科大学	東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学	健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム
2	国	岡山大学	北海道大学、金沢大学、大阪大学、九州大学、長崎大学、鹿児島大学、岩手医科大学、昭和大学、日本大学、兵庫医科大学	健康長寿社会を担う歯科医学教育改革

**【取組2：看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成】**

**〔2-（1）：地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成〕**

申請件数：66件 選定件数5件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	群馬大学		群馬一丸で育てる地域完結型看護リーダー
2	国	信州大学		実践力ある在宅療養支援リーダー育成事業
3	国	鹿児島大学		地域での暮らしを最期まで支える人材養成
4	公	山形県立保健医療大学		山形発・地元ナース養成プログラム
5	私	東邦大学		都市部の超高齢社会に挑む看護師養成事業

**〔2-（2）：指導力を有し地域医療で活躍できる薬剤師の養成〕**

申請件数：27件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	大阪大学		地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム
2	私	昭和大学		大学と地域で育てるホームファーマシスト

**〔2-（3）：チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成〕**

**①生体機能回復支援領域（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士）**

申請件数：24件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	長崎大学		高度リハビリテーション専門職の養成
2	公	大阪府立大学		在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成

**②生体機能診断支援領域（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）**

申請件数：17件 選定件数2件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	筑波大学	茨城県立医療大学	多職種連携医療専門職養成プログラム
2	国	九州大学		実践能力強化型チーム医療加速プログラム

**③口腔機能回復支援領域（歯科衛生士、歯科技工士）**

申請件数：2件 選定件数1件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	東京医科歯科大学	広島大学、九州歯科大学	健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成

## 課題解決型高度医療人材養成推進委員会委員名簿

- |   |            |             |                                 |
|---|------------|-------------|---------------------------------|
|   | えとう<br>江藤  | かずひろ<br>一洋  | 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構<br>副理事長    |
| ○ | おおしま<br>大島 | しんいち<br>伸一  | 独立行政法人国立長寿医療研究センター名誉総長          |
|   | かわもと<br>川本 | りえこ<br>利恵子  | 公益社団法人日本看護協会常任理事                |
|   | くまがい<br>熊谷 | かずまさ<br>和正  | 公益社団法人全国老人福祉施設協議会副会長・<br>業務執行理事 |
|   | こもり<br>小森  | たかし<br>貴    | 公益社団法人日本医師会常任理事                 |
|   | たけだ<br>武田  | じゅんぞう<br>純三 | 独立行政法人国立病院機構東京医療センター病院長         |
|   | つじ<br>辻    | てつお<br>哲夫   | 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授              |
|   | なかじま<br>中島 | しんや<br>信也   | 公益社団法人日本歯科医師会常務理事               |
|   | ながた<br>永田  | たいぞう<br>泰造  | 公益社団法人日本薬剤師会常務理事                |
|   | はんだ<br>半田  | かずと<br>一登   | チーム医療推進協議会代表<br>公益社団法人理学療法士協会会長 |
|   | やまぐち<br>山口 | いくこ<br>育子   | NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長       |

(五十音順 敬称略 計11名)

○ 委員長

# 課題解決型高度医療人材養成プログラム ペーパーレフェリー名簿①

(※ペーパーレフェリーは、書面審査を分担して実施)

## 【取組1: 医師・歯科医師を対象とした人材養成】

安達 知子	総合母子保健センター愛育病院副院長
五十嵐 隆	国立成育医療研究センター理事長・総長
一山 智	京都大学大学院医学研究科教授
今村 知明	奈良県立医科大学医学部教授
岩田 敏	慶應義塾大学医学部教授
植村 和正	名古屋大学大学院医学系研究科教授
大友 康裕	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
大曲 貴夫	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長
奥寺 敬	富山大学大学院医学薬学教育部教授
小倉 真治	岐阜大学医学部附属病院長
小澤 敬也	東京大学医科学研究所附属病院長
落合 慈之	NTT東日本関東病院名誉院長
菊地 龍明	横浜市立大学病院准教授
北村 聖	東京大学大学院医学系研究科教授
葛原 茂樹	鈴鹿医療科学大学看護学部特任教授
小井土 雄一	国立病院機構災害医療センター臨床研究部長
小林 順二郎	国立循環器病研究センター病院副院長
小正 裕	大阪歯科大学歯学部教授
斎藤 隆史	北海道医療大学歯学部長
白鳥 敬子	東京女子医科大学医学部主任教授
杉浦 真弓	名古屋市立大学大学院医学研究科教授
丹沢 秀樹	千葉大学大学院医学研究院教授
津田 喬子	名古屋市立東部医療センター名誉院長
角町 正勝	角町歯科医院院長
寺崎 浩子	名古屋大学大学院医学系研究科教授
豊島 勝昭	神奈川県立こども医療センター新生児科長
中島 和江	大阪大学医学部附属病院教授
中山 伸一	兵庫県災害医療センター長
白田 千代子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科非常勤講師
橋本 重厚	福島県立医科大学医学部教授
花岡 英紀	千葉大学医学部附属病院教授
平形 道人	慶應義塾大学医学部教授
星長 清隆	藤田保健衛生大学長
俣木 志朗	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
松尾 清一	名古屋大学副総長
松本 純夫	国立病院機構東京医療センター名誉院長
水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター病院長
宮坂 信之	東京医科歯科大学名誉教授
桃井 眞里子	国際医療福祉大学副学長
山村 隆	国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部長
吉崎 智一	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科教授

(五十音順 敬称略 計41名)

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム ペーパーレフェリー名簿②

(※ペーパーレフェリーは、書面審査を分担して実施)

### 【取組2: 看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成】

秋山 正子	株式会社ケアーズ代表取締役
浅野 みどり	名古屋大学大学院医学系研究科教授
麻原 きよみ	聖路加国際大学看護学部教授
荒木 暁子	千葉県千葉リハビリテーションセンター看護局長
飯野 英親	西南女学院大学保健福祉学部教授
井戸 靖司	岐阜医療科学大学保健科学部教授
伊藤 義広	広島大学病院診療支援部長
上原 昭浩	長野中央病院事務次長
臼井 千恵	帝京大学医学部附属病院視能訓練士技師長
大湾 明美	沖縄県立看護大学看護学部教授
小山田 恭子	元社団法人全国社会保険協会連合会社会保険看護研修センター
交野 好子	敦賀市立看護大学長
串田 一樹	昭和薬科大学薬学部講師
児玉 直樹	高崎健康福祉大学健康福祉学部准教授
小牟田 智子	前東京医科歯科大学医学部附属病院看護部長
齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会常任理事
坂西 清	新潟県厚生農業協同組合連合会新潟医療センター
清水 多嘉子	がん研有明病院副看護部長
鈴木 順子	北里大学薬学部教授
武村 雪絵	東京大学医科学研究所附属病院副病院長
鶴見 隆正	学校法人湘南ふれあい学園大学設立準備室
手島 恵	千葉大学大学院看護学研究科教授
中村 明弘	昭和大学薬学部教授
中村 藤夫	新潟医療福祉大学医療技術学部教授
中村 順子	秋田大学大学院医学系研究科教授
新田 國夫	医療法人社団つくし会理事長
任 和子	京都大学大学院医学研究科教授
長谷川 賢一	東北文化学園大学医療福祉学部教授
花島 邦彦	有限会社サン・メディカル代表取締役
原田 俊和	熊本大学医学部附属病院ME機器センター主任臨床工学技士
平岡 翠	名古屋市立大学病院副病院長
福井 小紀子	日本赤十字看護大学看護学部教授
藤原 英憲	公益社団法人日本薬剤師会常務理事
古橋 博美	公益社団法人日本歯科技工士会長
別府 千恵	北里大学病院副院長
政田 幹夫	福井大学医学部附属病院薬剤部教授
松井 恭平	前全国歯科衛生士教育協議会長
丸山 泉	医療法人社団豊泉会理事長
水間 正澄	昭和大学医学部教授
宮口 英樹	広島大学大学院保健学研究科教授
宮崎 長一郎	公益社団法人日本薬剤師会常務理事

村嶋 幸代	大分県立看護科学大学理事長
望月 眞弓	慶應義塾大学薬学部教授
安原 眞人	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
山田 雅子	聖路加国際大学看護実践開発研究センター教授
山西 文子	東京医療保健大学副学長
吉田 直美	千葉県立保健医療大学健康科学部教授
渡邊 眞知子	帝京大学薬学部教授

(五十音順 敬称略 計48名)



# 課題解決型高度医療人材養成プログラム

平成26年度予算額：10億円

## 概要

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する

## 背景 課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

### 医師・歯科医師

**高度医療専門人材の不足**  
・病院基盤部門を担う医療安全・感染制御領域等の専門人材養成と体制充実

**社会から求められる多様な医療ニーズの増加**  
・難治性疾患領域や高難度手術（移植医療等）領域等を担う専門人材養成

**高齢化に伴う歯科医療ニーズの変化**  
・口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域を担う高度な歯科医師の養成

### 看護師・薬剤師等のメデイカルスタッフ

**チーム医療の推進**  
・チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力の強化等

**教育と臨床の連携強化**  
・学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、卒前・卒後の学生・医療人の教育指導体制の構築等

**地域医療連携の推進**  
・地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

我が国が抱える  
医療現場の諸課題

## 取組

【取組1】医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

14件×50,000千円

横断的な診療力とマネジメント力の  
両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要と  
される分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する  
歯科医療人養成



【取組2】看護師・薬剤師等を対象とした教育プログラム 12件×25,000千円

対象職種：看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士、歯科技工士

卒前・卒後の継続的な教育プログラム  
開発と教育指導体制の構築

臨床での教育指導者養成と大学  
教員・教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できるメデイカル  
スタッフの養成



## 成果

高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会の実現